

神戸産学官交流会 平成16年度 事業実績



会議名	日程 (担当幹事)	会場	内容
幹事会	平成16年4月8日		
第69回定例会	平成16年4月9日		＜研修会＞ 演題:「神戸医療産業都市構想について」 講師:神戸市産業振興局企業立地課(医療産業都市構想担当) 主査 前畑 年良 氏 ＜研究会最終報告＞ 演題:「神戸産学官交流会平成15年度の活動報告について」 講師:兵庫県立大学 経営学部 事業創造学科教授 三井 光晴 氏
総会 第70回定例会	平成16年5月13日		＜年頭講演＞ 演題:「産業開発における地元企業の役割」 講師:兵庫県立大学 経済学部 事業創造科 教授 三井 光晴 氏
第71回定例会	平成16年6月10日		＜研修会＞ 演題:「写真芸術家の目から見た米国ワシントン州-フランスや日本との比較も交えて-」 講師:米国ワシントン州立エバグリーン大学教授・兵庫県立大学経営学部客員教授 ロバート・ハフト博士 (専門:写真芸術学)
第72回定例会	平成16年7月8日		＜工場見学会＞ ポートアイランドII期内施設 神戸医療産業都市構想関係施設・神戸フィッシュミール工場
第73回定例会	平成16年8月5日		＜研修会＞ 演題:「未利用廃棄バイオマスの炭化リサイクルと地域産業開発」 講師:大幸テック株式会社 代表取締役社長 柴田 晃 博士(政策科学) (大幸薬品株式会社 副社長) ＜会員企業報告＞ 演題:「廃木材チップ業の現状と課題」 報告者:神戸エンジニアリングサービス株式会社 顧問 平岡 努 氏
第74回定例会	平成16年9月9日		＜研修会＞ 演題:「“プロ・パテント”時代の産業を考える」 講師:神戸市外国語大学 助教授 田中 悟 氏 演題:「食の安心・安全のために」 講師:独立行政法人 農林水産省消費技術センター 神戸センター 消費者情報課 主任調査官 津村 明宏 氏
海外研修	平成16年9月17日 ～24日		＜アメリカ合衆国視察＞ シアトル・オリンピア
幹事会	平成16年10月7日		今年度事業計画の変更等
第75回定例会	平成16年10月14日		＜研修会＞ 演題:「プロバイオティクス(共生物質)と人の健康21世紀」 講師:神戸大学大学院 自然科学研究科資源生命科学専攻助教授 大澤 朗 氏 演題:「プロバイオティクスビジネスについて」 講師:ユメックスバイオテック株式会社 代表取締役 益田 義弘 氏
第76回定例会	平成16年11月4日		＜研修会＞ 演題:「食品の安全性確保の取り組み事例」 講師:サントリー株式会社 品質保証部 専任部長 医学博士 峯 孝則 氏 ＜会員企業報告会＞ 演題:「車椅子殺菌・乾燥装置製造の経過報告」 講師:株式会社藤製作所 代表取締役社長 藤沢 信幸 氏 マーテック株式会社 代表取締役社長 木下 洋 氏
第77回定例会	平成16年12月9日		会員企業報告会と忘年会 演題:アメリカ視察研修会 会員企業報告

第78回定例会	平成17年1月13日	<p>＜会員講師講演＞ 演題:「新幹線車軸の研究からみたリスク・マネジメントについて」 講師:龍谷大学 名誉教授 中村 宏 氏</p> <p>＜研修会＞ 演題:「キノコはどうして抗腫瘍性を示すのか?」 講師:神戸大学農学部植物資源学科 助教授 水野 雅史 氏</p>
第79回定例会	平成17年2月10日	<p>＜研修会＞ 演題:「メディアビジネス市場を拡大するeプロモーション領域～モバイルコードの可能性について～」 講師:株式会社クロスメディアインフォメーションセンター 代表取締役社長 岡持 充彦 氏</p> <p>＜会員企業報告＞ 演題:「ノロウイルスについて」 講師:サラヤ株式会社 神戸営業所 食品衛生部生技術拠点長 福田 亮平 氏</p> <p>＜新規会員企業紹介＞ 株式会社 シースカイ</p>
第80回定例会	平成17年3月10日	<p>＜会員企業講演会＞ 演題:「体験から学んだ避難所ボランティアリーダーの役割と心得・他」 講師:株式会社 シースカイ 代表取締役 岡 二郎 氏</p> <p>＜企業プレゼンテーション＞ ロッポウユニオン 株式会社</p>

16年度交流会事業の4つのプロジェクト(案)

- I 環境経営研究プロジェクト(担当:藤沢座長・三井幹事)
 事業系廃棄物の有価物化(フィッシュミール等)
- II 海外ビジネス研究プロジェクト(担当:木下副座長)
 中国・ヨーロッパ等の海外ビジネス研究
- III 対内外PRプロジェクト(担当:湊副座長)
 新入会員の獲得推進・会員企業プロフィールの復活
- IV 産学連携プロジェクト(担当:松岡副座長)
 他グループ等との連携・交流

※1 分科会である共同開発研究会「神戸技術イノベーション倶楽部(K-TIC)」については随時活動していく。
 その進捗状況及び成果等については、上記研修会等にて報告する。

※2 希望企業による随時開催の「特別研究会」を設置する。(1)発アイデア共有のための研究会 (2)会友と語る研究会 等)